

埼玉県機械工学系奨学生レポート 平成 27 年度 10 月 ハロウィーンイベントと IELP

紅葉から秋を感じる季節となりました。アメリカでの生活と運転にも慣れてきたので、相方の八木君と交代で運転をしてナイアガラの滝まで旅行に行きました。時々クレジットカードが使えないガソリンスタンドがあるので、ガソリンの残量を気にしながらの片道 8 時間運転はなかなか大変でした。少し肌寒かったですが、有名になっていることが納得のいくスケールの大きさでした。

ハロウィーンイベント

10 月は、私が留学期間中楽しみにしていたイベントの一つであるハロウィーンがある月です。ハロウィーンをより深く体験するために、学内の仮装パーティに何度も参加し、そのほかにも元々刑務所だった場所を改装したホラーハウスにも行きました。このホラーハウスは映画でも使われた有名なところらしく、お化けに扮したスタッフがいつの間にか後ろにおり、心臓に悪いところでした。大人数で行ったこともあり、お化け自体は問題なかったのですが、チェーンソーを持った人に追いかけられた時には、それが偽物と分かっているにもかかわらず、火花と騒音がリアルだったため本気で逃げました。

ハロウィーンパレードには、キャストとして参加しました。私たちのグループはほとんど日本人で構成されていたので、『サムライジャパン』という名前で出場しました。死神のコスチュームを買って準備していたのですが、日本を意識した名前になったので、大急ぎで忍者のコスチュームを買い直し、参加しました。私たちの様に仮装して歩く以外にも、ハロウィーン仕様のゴンドラもあり、まるでディズニーランドのパレードの様でした。私たちが思っていた以上に大規模で、子供たちの数が多く、最初のコーナーを曲がる前には持ってきていたお菓子がほぼつきてしまい、メイン通りを渡るころにはポケットに入る程度しかありませんでした。『忍者、忍者』と明らかに私を呼んでいる子供たちもおり、残り少ないお菓子を渡す子供を選ぶことは大変つらかったです。私は、お菓子のほかにも紙手裏剣も持参しており、小さな子供たちは喜んでくれました。そんなこともあり、ハロウィーン当日には大量にお菓子を買って、子供たちが「トリック・オア・トリート」と訪ねてくるのを待ち構えていたのですが、学内のアパートだったので一人も来ず残念でした。これに関してはもう少し情報を集めてから臨むべきだったのかなと思いました。

イベント全体としては、出演者としてパレードに参加するなど、良い経験が得られたと思います。



ホラーハウス前で撮った集合写真



ハロウィーンパレード前
(左：私 右：私たちのグループの方です)



子供たち側から見た風景

英語の授業

私は、IELP (Intensive English Language Program) と呼ばれる、英語を専門とする留学生用の学科に所属しています。クラスはほとんどがサウジアラビア人で、その他に日本人と中国人が二人ずつ在籍しています。授業では英語だけでなくアメリカの歴史やアメリカの文化 (祝日) についても学んでおり、英語抜きでも興味のわく内容が多いです。

料理に関する授業もありました。調理器具や調理方法の英単語を一通り学んだ後、クラスメイト全員で料理を作り、その料理に関するプレゼンテーション込みのパーティを行いました。私のクラスには既婚者も多く在籍しているためか、凝った料理が多くありました。日本で私が在籍している大学では、受講者が 100 人単位になる授業が多く、クラスメイト全員の顔を覚えるのはかなり難しいです。しかし、IEPL では一クラス 15 人程度で、授業にレクリエーションの要素もあるため、顔を覚えるどころか仲も良くなり、クラス内での交流も多いです。特に私は中国の方と仲が良く、家に招待してもらったりする事もあります。こちらでは、頻繁に家に招待し合い、料理でもてなすということが多々あります。在学生のほとんどがルームシェアもしくはハウスシェアをしているため、そこでさらに交流の輪が広がります。



パーティで持ち寄られた料理